

21世紀減災社会シンポジウム

津波から命を守るために

～東日本大震災15年・次の巨大地震への教訓

2026年3月に東日本大震災から15年の節目を迎えます。阪神・淡路大震災から生まれた災害対処のシンクタンク「ひょうご震災記念21世紀研究機構」と防災報道を重視してきた「朝日新聞社」、東北の地域報道を担う「河北新報社」が連携して、東日本大震災の大きな教訓である津波防災に焦点をあて、この震災の経験から何を学び、どのように備え、教訓を伝えていくのかについて考えます。

日時 令和8年1月23日(金) 13:00～16:30

場所 仙台市戦災復興記念館 記念ホール
(仙台市青葉区大町2-12-1)

写真提供：河北新報社

参加無料
先着150名

オンライン
同時配信

終了後1月30日まで
視聴可能。

基調講演

「東日本大震災に学ぶ ～津波の脅威から身を守る～」

今村 文彦 (東北大学副学長・災害科学国際研究所教授)



パネルディスカッション

パネリスト



矢守 克也
(京都大学防災研究所副所長・教授)



佐藤 仁
(前南三陸町長)



丹野 祐子
(津波復興祈念資料館「関上の記憶」代表)



越中谷 郁子
(河北新報社記者)

コーディネーター

御厨 貴

(ひょうご震災記念21世紀研究機構研究戦略センター長／
東京大学名誉教授)



朗 読

Team Sendai

(仙台市職員有志により
結成された団体)



プログラム

開会挨拶

13:00～13:15 朝日新聞社、河北新報社、宮城県

基調講演

13:15～14:15 今村 文彦（東北大学副学長・災害科学国際研究所教授）

「東日本大震災に学ぶ ～津波の脅威から身を守る～」

朗 読

14:25～14:40 Team Sendai（仙台市職員有志により結成された団体）

職員や市民の震災体験についての朗読

パネルディスカッション

14:40～16:30

パネリスト

矢守 克也

（京都大学防災研究所副所長・教授）

佐藤 仁

（前南三陸町長）

丹野 祐子

（津波復興祈念資料館「関上の記憶」代表）

越中谷 郁子

（河北新報社記者）

コーディネーター

御厨 貴

（ひょうご震災記念21世紀研究機構研究戦略センター長／東京大学名誉教授）

お申し込みはこちらから
参加無料

来場参加申込

定員（150名）に達し次第、
受付を終了します。



来場用QRコード

<https://forms.gle/dkDzKUfU7yftmm6w9>

オンライン視聴

要事前登録。

ライブ配信終了後
1月30日まで
視聴可能。



オンライン視聴用
QRコード

<https://forms.gle/5xbbzLdym7ccmj6i6>

申込締切 令和8年1月18日(日)

※入力いただいた個人情報等は、事務局で適正に管理し、
ご案内に関してのみ使用いたします。



◆地下鉄東西線 大町西公園駅から徒歩8分

◆市バス東北公済病院・震災復興記念館前バス停から徒歩7分

※会場には駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

問い合わせ先

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構 研究戦略センター

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 人と防災未来センター東館6F

TEL: 078-262-5713 E-mail: gakujutsu@dri.ne.jp

主催: 朝日新聞社、ひょうご震災記念21世紀研究機構 共催: 河北新報社

後援: 内閣府政策統括官(防災担当)、復興庁、総務省消防庁、岩手県、宮城県、福島県、兵庫県、仙台市、
関西広域連合